



ご挨拶 ～独立行政法人化と「J-STAGE2」の開始～

科学技術振興機構 情報事業本部長 佐原 卓

今年10月1日をもってJSTはこれまでの特殊法人から独立行政法人へと移行し、名称も「科学技術振興機構」として新たに発足いたしました。また、この独立行政法人化と時期を同じくしてJ-STAGEも新システム移行の第一歩を踏み出しました。これまでの皆様のご支援、ご協力に感謝いたしますとともに、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

JSTの独立行政法人化により、JSTの事業がこれまでと変わるというわけではではありません。「特殊法人」と「独立行政法人」の違いは、むしろ各事業の進め方にあります。各事業は、国から示される3年～5年の「中期目標」とそれを達成するための「中期計画」に基づき、計画的に業務を行います。この実施状況や結果は、外部の評価委員会によって定期的に厳しく評価されることとなります。10月1日付けで平成19年3月末までの3年6ヶ月に達成すべき目標・計画が定められており、それぞれの実施計画においては数量的な達成目標数値が掲げられております。

「J-STAGE」事業につきましても、我が国の研究成果をより多く国際社会に発信する観点から、参加学会誌数、アクセス数、リンク数の達成目標値を定めております。この目標を達成できるよう利用促進に努めることは言うまでもありませんが、そのためには、J-STAGEがこれまで以上にご利用者である学協会や、研究者等のニーズや要望を反映したシステムになる必要があります。

幸いなことに、J-STAGEは、システムの効率化やサービス性の向上を目指して、一昨年度来「J-STAGE2」という新しいシステムの開発を行ってきており、9月24日からは、新システムによる新たな公開系のサービスを開始いたしました。この新システムでは、全てのJ-STAGE掲載学協会誌の横断検索が可能になり、ご利用者の利便性の向上とともに、掲載誌の利用機会の一層の拡大が実現いたしました。「J-STAGE2」は、この後、11月19日からの編集・制作系のリリースを経て、平成16年1月21日の投稿・審査系を含めた最終リリースのスケジュールで順次、現行システムから切り替えて皆様にご利用いただく予定です。

「J-STAGE2」の開発にあたっては、説明会等を通じて、学協会、印刷会社等のご意見、ご要望を集約し、仕様に反映することができたと思っています。しかしながら、世界の出版社、学協会の電子ジャーナルによる情報発信は非常な勢いで進歩、拡大しております。この状況の中で日本の学協会が存在感を発揮し、研究者が世界に向けて情報発信する最適な場として「J-STAGE」が今後も、皆様の期待に応えることができるよう、決意を新たに努力してまいります。



2003年度 CrossRef 会議に参加しました

2003年9月16日・17日、ロンドンにおいてCrossRef年次メンバー会議と技術会議が開催されました。JSTからは昨年続いて2回目の参加となりました。

メンバー会議には約50機関からの参加があり、活発な議論が行われました。

CrossRefには、2003年9月現在で241 Members、8 Agents、25 Affiliates、145 Librariesが参加しており、約8,400種のジャーナルの8,700万件以上のメタデータが保有されています。

メンバー会議では、CrossRefの活動報告、財務報告に引き続き、2004年度の新料金体系、Membership Agreementの改定についての提案や今後の活動についての議論が行われました。インターネット上でのコンテンツの識別番号DOI (Digital Object Identifier) について、利用事例がいくつか紹介されましたが、海外では政府関係レポート等へのDOI付与も始まりつつあるようです。

技術会議では、システム稼働状況の報告のほか、メタデータ検索で該当DOIが登録・取得されるまで質問を保存しておくForward Matchingや被引用情報提供のためのForward Linkingなどの新機能の話題が出ました。

昨年話題になったCrossRef Searchについては、今後独自の開発はやめてGoogle等との連携を検討するとのことでした。

J-STAGE サイトリニューアルについて

平成 15 年度中に開発・リリースを予定しております J-STAGE2 ですが、9 月 24 日にその第一弾として公開システムが稼動し、それに伴い公開画面をリニューアルいたしました。主な特徴は以下のとおりです。

- ・ J-STAGE 掲載のすべての記事（NII 学会発表 DB を除く）からの検索が可能になりました（資料横断検索）
- ・ 資料トップ画面より著者名やフリーワードでジャーナル内の記事を検索できます（資料内検索）

リリーススケジュールとしては編集システムが平成 15 年 11 月 19 日、投稿審査システムと公開システムの新機能が平成 16 年 1 月 21 日にリリースされ、新たな J-STAGE が稼動を開始します。



J-STAGE トップページ



資料トップページ

注意：ジャーナルや予稿集など、資料トップページの URL が変わりました。これらのページにリンクをされている方はご注意ください。

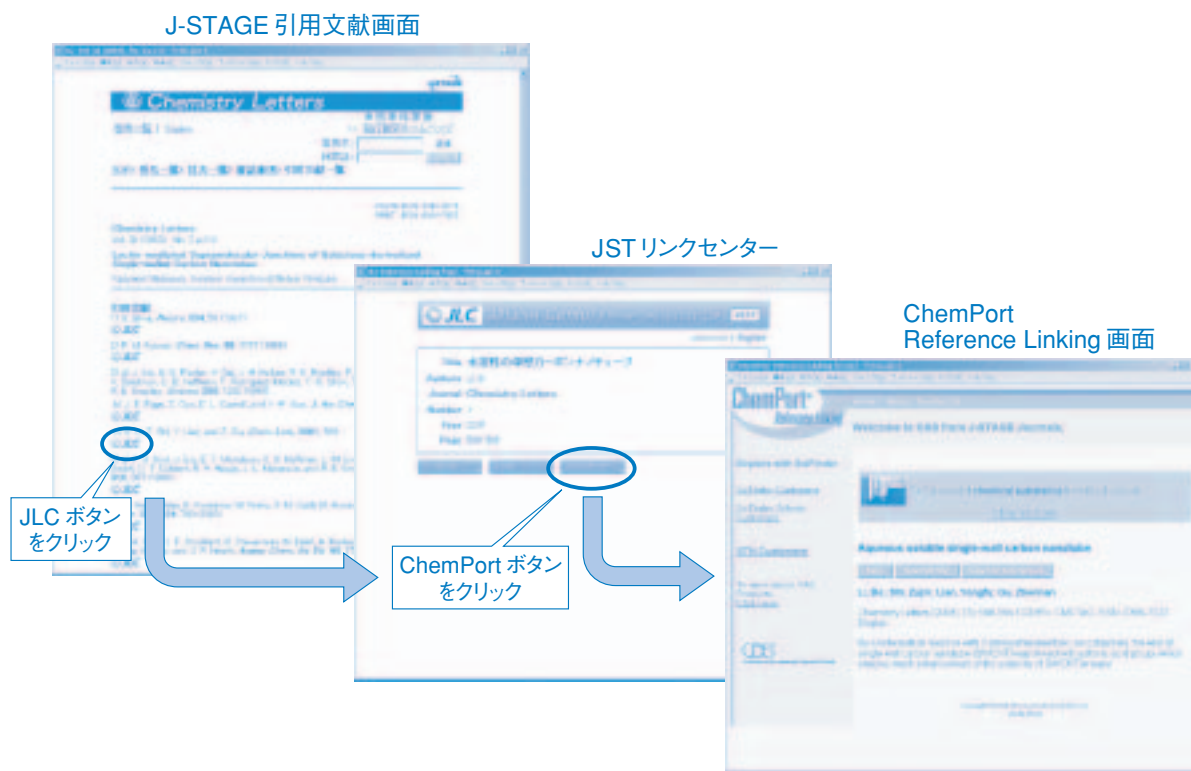
J-STAGE2 説明会を開催しました

J-STAGE2 説明会を 6 月から 8 月にかけて東京で 3 回、大阪で 2 回実施し、のべ 134 学協会（200 名）とのべ 46 の印刷会社のみなさまに出席をいただきました。説明会では J-STAGE の最新状況および活用事例を紹介し、J-STAGE2 へのデータ移行やシステム切り替えに伴うサービスの停止、編集・制作ツールの移行スケジュールについて説明させていただきました。特に編集・制作ツールは利用形態が大きく異なるため、すべての利用学協会研修を行っていただく必要があり、今後の研修会についての説明もいたしました。説明会終了後、学協会・印刷会社等から多くのご質問、要望をいただきました。

各説明会で使用しました発表資料および質疑応答の一部につきましては、<http://info.jstage.jst.go.jp/>にて公開しておりますのでご覧ください。



J-STAGE 引用文献から ChemPort へのリンクを開始しました



10月よりJ-STAGEからChemPortへのリンクが開始され、J-STAGEに搭載されているジャーナル(*1)の論文の引用文献について、該当論文がSTNのCA等のデータベース(*2)に採択されていれば、その抄録が無料で表示されるようになります。

対象となる文献については、J-STAGEの引用文献画面の「JCLボタン」をクリックしたときに現れるJSTリンクセンター画面に新たに「ChemPortボタン」が表示されますので、それをクリックすればChemPort Reference Linking画面が現れ、STNデータベース中の抄録(英文)が表示されます。

*1 当時は、ChemPortに参加しているジャーナルのみが対象となります。

*2 現在はCAplusとMEDLINEファイルのみです。

登録誌が増えました—登録誌数が200誌を超えました—

10月1日現在、J-STAGEに登録されている資料は、201誌(ジャーナル118誌、予稿集・要旨集46誌、報告書5誌、JST報告書32誌)です。J-STAGE NEWS No.7以降、新たに登録されたものは、下記の51誌です。

	誌名	発行機関名
ジャーナル	Mammal Study	日本哺乳類学会
	Journal of Water and Environment Technology	日本水環境学会
	Journal of Asian Architecture and Building Engineering	日本建築学会
	Journal of Computer Chemistry, Japan	日本コンピュータ化学会
	TRANSACTIONS OF THE JAPAN SOCIETY FOR AERONAUTICAL AND SPACE SCIENCES, SPACE TECHNOLOGY JAPAN	日本航空宇宙学会
	混相流	日本混相流学会
	Journal of Surface Analysis	表面分析研究会
	JOURNAL OF THE JAPAN STATISTICAL SOCIETY	日本統計学会

	誌名	発行機関名
ジャーナル	表面科学とナノテクノロジー	日本表面科学会
	STRUCTURAL ENGINEERING / EARTHQUAKE ENGINEERING	土木学会
	MICROBIOLOGY and IMMUNOLOGY	学会誌刊行センター
	Analytical Sciences: X-ray Structure Analysis Online	日本分析化学会
	Analytical Sciences	日本分析化学会
	Endocrine Journal	日本内分泌学会
	ランドスケープ研究	日本造園学会
予稿集 ・ 要旨集	日本家庭科教育学会大会・例会・セミナー研究発表要旨集	日本家庭科教育学会
	日本調理科学会大会研究発表要旨集	日本調理科学会
	エレクトロニクス実装学術講演大会講演論文集	エレクトロニクス実装学会
	日本歯科理工学会学術講演会要旨集	日本歯科理工学会
	日本鉱物学会年会講演要旨集	日本鉱物学会
	宝石学会（日本）講演会要旨	宝石学会（日本）
	関西造船協会講演概要集	関西造船協会
	日本岩石鉱物鉱床学会 学術講演会 講演要旨集	日本岩石鉱物鉱床学会
	SICE Annual Conference Program and Abstracts	計測自動制御学会
	計測自動制御学会 部門大会／部門学術講演会資料	計測自動制御学会
	地盤工学研究発表会 発表講演集	地盤工学会
	画像電子学会研究会講演予稿	画像電子学会
	日本陸水学会 講演要旨集	日本陸水学会
	風工学シンポジウム論文集	日本風工学会
	日本造園学会 全国大会 研究発表論文集 抄録	日本造園学会
	日本建築仕上学会 大会学術講演会研究発表論文集	日本建築仕上学会
	西部造船会々報	西部造船会
	日本衛生動物学会地方支部大会要旨抄録集	日本衛生動物学会地方支部
	粘土科学討論会発表論文抄録	日本粘土学会
	画像電子学会年次大会予稿集	画像電子学会
	日本デザイン学会研究発表大会概要集	日本デザイン学会
	人工知能学会全国大会論文集	人工知能学会
	日本惑星科学会秋季講演会予稿集	日本惑星科学会
	照明学会 全国大会講演論文集	照明学会
	日本応用動物昆虫学会大会講演要旨	日本応用動物昆虫学会
	社団法人日本家政学会大会研究発表要旨集	日本家政学会
	映像情報メディア学会大会講演予稿集	映像情報メディア学会
	日本衛生動物学会全国大会要旨抄録集	日本衛生動物学会
	化学工学会 研究発表講演要旨集	化学工学会
	日本生態学会大会講演要旨集	日本生態学会
	システム制御情報学会 研究発表講演会講演論文集	システム制御情報学会
	日本経営システム学会全国研究発表大会講演論文集	日本経営システム学会
	環境情報科学論文集	環境情報科学センター
報告書	埼玉県理学療法士会	埼玉県理学療法
	都市計画報告集	日本都市計画学会
	ヒューマンインタフェース学会研究報告集	ヒューマンインタフェース学会

■ 編集後記 ■

♪ 3月より電子ジャーナル部門の担当となりました。まだまだわからないことばかりでご迷惑をおかけすると思いますがご指導よろしくお願いたします。(マ)
 ♪ 7月からJ-STAGE 担当部署に配属されました。早く業務内容を覚えてみなさまのお役に立てるようになりたいと思っています。今後ともよろしくお願致します。(く)

★ J-STAGE および J-STAGE ニュースに関するご意見・ご質問をお待ちしております。

JST 知的資産集積部 電子ジャーナル部門 (contact@jstage.jst.go.jp)



<http://www.jstage.jst.go.jp>

編集 科学技術振興機構 知的資産集積部 電子ジャーナル部門

発行人 知的資産集積部長 曾根 由紀子

住所 〒102-0081 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ

電話 03-5214-8455 (ダイヤルイン)

E-MAIL contact@jstage.jst.go.jp

J-STAGE News No.8 正誤表

【訂正】 1 ページ「2003 年度 CrossRef 会議に参加しました」記事中、5 行目

(誤)『8,700 万件以上のメタデータ』

(正)『870 万件以上のメタデータ』

【訂正】 1 ページ「2003 年度 CrossRef 会議に参加しました」記事中、6 行目

(誤)『Membership Agreemnt の改定』

(正)『Membership Agreement の改定』

【訂正】 3 ページ「J-STAGE 引用文献から ChemPort へのリンクを開始しました」記事中、4 行目

(誤)『「JCL ボタン」をクリック』

(正)『「JLC ボタン」をクリック』